地域の資源生かし誘客

大垣市でセミナー 「着地型観光」を紹介

大垣共立銀行と大垣信用金庫の共同企画による「第4回大垣地域活性化セミナー」が22日、大垣市万石の大垣フォーラムホテルで開かれた。地域人材育成コンサルタントで観光戦略アドバイザーの田原洋樹氏が「地域資源を活用した着地型観光ビジネス」と題して講演、取引先関係者ら約150人が聞いた。

大手旅行会社が企画する旅行商品に対し、これまで気付かれていなかった地域の観光資源を活用する体験型・交流型の新しい旅行が着地型観光とされ、地域活性化につながることが期待されている。

田原氏は、産業や農業、文化などをテーマにした着地型観光の分類や、各地の成功事例を紹介。訪日外国人旅行者の旅行1回の消費額は国内旅行者の3倍とのデータを挙げ「定住人口が減る中で、増え続ける外国人旅行者は、消費額を補う大きな可能性を秘めている」と説明した。

また「地域活性化には、潜在する可能性を信じて、自分のまちのために アイデアを出し続ける姿勢が必要」と呼び掛けた。講演後、西濃地域の自治体の職員約20人との意見交換会も行われた。



観光資源を活用した地域活性化の成功事例を紹介する田原洋樹氏＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル

無断複製・転載を禁じます